

平成26年度採択 領域開拓プログラム(公募型研究テーマ)

◆課題:「規範理論と経験分析の対話」

◆研究テーマ:「規範理論としての法語用論の開拓
ーヘイト・スピーチの無効化をめぐるー」

研究期間:
H26.10~H30.3

<研究代表者>

尾崎一郎:北海道大学大学院法学研究科/教授

<専門分野> 法社会学

<研究目的、概要>

背景

深刻化するヘイト・スピーチの法的規制とその是非

目標

ヘイト・スピーチの攻撃性、加害性を緩和し無効化する社会的・規範的応答メカニズムを解明する

手法

- (1) 法社会学、言語学、社会心理学の協働による新しい法語用論の開拓
- (2) メディア上のヘイト・スピーチの実例の収集、コーパスの構築と計量言語学的分析
- (3) 心理学実験(攻撃心理)の応用

いかなる工夫でヘイト・スピーチの攻撃性を緩和・無効化できるか
法規制はいかなる内実と手続を用意すべきか
私人はいかなる規範実践を実現できるか

<異分野間での研究プロジェクト運営>

法学

学問分野により術語体系の食い違いがあり、「ルール」など、同じ語でもニュアンスが異なることが多い

言語学

←全員参加の研究会合における徹底的な議論

心理学

←ミニマルな用語の定義の確定

問題関心の共有と相補的なコミュニケーションを実現

<研究成果、波及効果等>

新たなヘイト・スピーチ対策の実践的提言

語用論的発話構造の特質と発話者の心理を解明することで、ヘイト・スピーチの社会的無効化の方策の手がかりを提示した

シニア・メンバー (法社会学、言語学)

新プロジェクト(法コンテキストにおける潜在的バイアス)の企画と起ち上げ

ジュニア・メンバー (法社会学、心理学)

アカデミック・ポストの獲得や、国際的学術誌における研究発表に寄与